

2018年3月期第1四半期 決算説明会 主な質疑応答内容（要旨）

Q1 宅急便の単価、数量の予想を変更した要因を教えてください

- 宅急便の単価、数量の予想については、大口の法人顧客に対して進めている交渉の中で、具体的に見えてきた「取扱数量の減少」「単価の上昇」を織り込んだ数値としております。
- 宅急便の総量コントロールに関しては、一部のお客様の当日便の取扱いを中止したほか、繁忙期の出荷調整や再配達削減などについてもご協力をお願いしております。
- 単価に関しては、大口の法人顧客に対して順次交渉を進めております。一度に宅急便単価の値上げを行うのではなく、段階を踏み徐々に値上げをするお客様もおり、施策の効果は下期以降を見込んでおります。
- なお、法人顧客に対して、外部環境の変化を含むトータルコストを反映した運賃設定の仕組みを構築し、継続的に運賃の見直しを図っていきます。

Q2 一時金の状況について教えてください

- 今回、52億円の追加計上を行いました。弊社としては今回の調査をもって、社内調査に区切りがついたと考えております。
- なお、万が一、新たに社員等からの申し出などがあれば個別に対応しますが、業績に与える大きな影響は無いと見ています。

Q3 海外事業の収益状況と今後の見通しについて教えてください

- 海外事業に関しては厳しい状況が続いていますが、足元では営業収益・営業利益ともに、改善傾向にあります。今後の取組みなどに関しては9月の中期経営計画発表時にご説明する予定です。